

岐阜県立羽島北高等学校

学 校 長 石田 達也

学校所在地 岐阜市柳津町北塚3-110 電話 058-388-3611

1 会議の名称 岐阜県立羽島北高等学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 評議員

市野 和之 (株)トヨタオートモールクリエイト取締役
杉山 英子 柳津佐波女性の会
平松 慎樹 P T A会長
三輪 浩子 羽島北高等学校同窓会 (都合により欠席)
吉村 光弘 柳津町まちづくり協議会事務局長

(委員名は五十音順)

学校側

石田 達也 校長
西村 美穂 教頭
伊藤 登 事務長
庄司 幸宏 教諭
白木 宏司 教諭
村上 宏俊 教諭

3 会議の目的 学校運営について地域住民や有識者等から幅広く要望や意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
(岐阜県立羽島北高等学校学校評議員設置要綱第1条)

4 会議の開催 平成31年2月7日(木) 14:00~16:00 会議室
評議員4名と学校側6名が出席
(1) 生徒会役員生徒による学校紹介
(2) 学校行事(かるた大会)参観
(3) 学校評議員協議

5 会議の概要

(1) 学校の概要説明: 教務部、進路指導部、生徒指導部より今年度の取り組みについて

各部より、本校の現状や具体的な取り組みについて説明。

(2) 質疑応答

質問1: 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間とはどのようなものか。

回答: 教科の枠内には収まらない進路学習や地域課題探究学習などを行うもの。

質問2: 情報モラル違反にはどのようなものがあるか

回答: SNSなどに不適切な書き込みをして関係がこじれるものなど。

質問3：ポートフォリオノートとは何か。

回答：進学の際、大学等が入学の判定材料として高校時代の様々な活動を評価するようになるということに対応して、ボランティアなどの活動を個々の生徒が記録するノート。来年度の1年生（単位制初年度）より導入。

(2) 生徒会との意見交流・学校行事参観・学校側の説明等に対するご意見・ご感想

意見1：交通事故が意外に多い。自動車に携わる企業の立場からも交通事故は0にしたい。

意見2：生徒は明るく元気がよい。アクティブラーニングなどの授業の成果があって、本日のように学校行事にも活気が生まれるものなのだろうと思う。

意見3：校長からPTAの会の時間帯などについても考えてもらっているが、働き方改革は重要。現状が辛い状態にあることも発信してほしい。

意見4：単位制のカリキュラムは自分の判断で選べるというもの。楽しみがふんだんにある。

意見5：生徒指導やマナー指導など、気になるところはない。昔は高圧的な先生がいて怒られるから言うことを聞くという感じだったが、生徒の意識が明らかに変わってきている。十分に説明し納得を得るなど、手順を踏んで教育が進められている。

意見6：教育においては、生徒と先生の良い関係、ラポール（心が通い合うこと）が最も重要。卒業後も記憶に残るようなやり取りがあってほしい。

(3) 次年度から「ふるさと教育（地域の魅力を知り地域の課題を発見・解決）」が進められる予定だが高校生にどういうことを期待するか。

意見1：高校生は小中学生ほど地域密着ではないが、それでも高校として地域とのつながりを推進するのは有意義。多くの生徒が参加してほしい。マッチングができるとよい。

意見2：スポーツは、一緒にやることで生まれるつながりが大きい。運動系部活動の生徒が、地域の少年団や小学校中学校に出向いてハンデ戦などを行うことで指導的な役割を果たすことができる。

意見3：柳津町のスポーツ関係の取り組みでは指導者に困っている。高齢者が多く、そこに若者が入ってくると雰囲気は全然違うと思われる。

意見4：地域課題として高齢化がある中で、若い人が育っていくことが地域を元気にする。地元企業としては「場」として利用してほしいと思っている。ただ、高校生の過剰な負担にならないようにしてほしい。

意見5：地元の食材を活用するという取り組みに、羽島北高校の生徒に参加してもらった。地元を活性化する取り組みの中で、地元の人と高校生との間にいい関係が作られていくとよい。

6 会議のまとめ

学校評議員と生徒会執行部の生徒との懇談会では、生徒のボランティア活動、様々なアイデアによる学校行事の改革等に対し、評議員から高く評価していただき、また激励の言葉をいただいた。

地域との連携については、高齢化が進む地域の実情の中で、高校生の活力を期待する声が多く聞かれた。地域では協力の意欲を持っていただいていることを感じ、次年度からの「ふるさと教育」の展開においても、地域の課題の発見・解決に有効な貢献ができるように考えていきたい。生徒が地域に愛着を持ち、また、課題の発見・解決ができるような力を付けていけるような教育を進めていきたい。